



大阪府立

令和7年 12月26日号

豊中支援学校 校長だより

発行者 校長 上田 敬三

2学期

終業式

一昨日、2学期の終業式を迎えました。体育館に集まった子どもたちは、心なしかウキウキとしているように見受けられ、式の次第にある「校歌」を歌う声の大きさやメロディに合わせた体の揺らし方、校歌が終わった後に自然と沸き起こった拍手の大きさなど、1学期の終業式とはまた違う印象を受けました。

さらに、クラスの友だちを思いやる行動や言葉かけ、教員との微笑ましいやりとりなどから、子どもたちの関係性がより広がり、深まっていることを感じ、子どもたちの成長を実感したところです。

式に参加する子どもたちのそのようなようすを見ながら、今年4月の入学式・始業式のようすを思い返すと、9か月が経って随分と落ち着きが増しているように感じられました。その理由について考えを巡らせると、単に子どもたちが学校の環境に馴染んだということだけではなく、日々の学校生活の中で『安全・安心』をより感じられるようになったことも大きいのだろうということに思い至ります。



一人ひとりの子どもに応じた教職員の丁寧なかかわりや環境調整等の重要性は言うまでもなく、主な活動集団であるクラスや学習グループ、さらに大きな学年・学部集団などにおいても『安全・安心』を感じるためには、どのような場面でも大切にしなければならない『きまり』や守るべき『ルール』などが必要です。

また、めざすべき明確な目標を掲げて、根気よく取り組む集団づくりも、『安全・安心』な学校生活には欠かすことができません。

子どもたちは、友だちや教職員とのかかわり、集団活動などを通じて、多様な方法で自分を表現・主張する術を学び、また時には衝突し、葛藤なども抱えながら互いのことを理解し、受け容れるということを経験しています。

そのような取り組みや経験等も『安全・安心』な学校づくりを進めていくためにはとても大切なことだと考えています。

今年度も3学期を残すだけとなりました。卒業を迎える学年はもちろんのこと、子どもたちには、同じクラスや学習グループ等で過ごす時間を大切にしながら、充実した3学期を過ごしてほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、2学期も本校の教育活動にご理解とご支援ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

